

日本共産党
京都市会議員
市会報告

やまね ともふみ 智史



初の代表質問で
京都市の原発問題への
姿勢を
徹底追及
しました!



すべての

原発再稼働 中止を!

市民の命
の
守れ
原発災害から

市長は、高浜の異常事態を受けても再稼働に反対せず

京都市の防災計画は、「福島を想定」しながら不十分な中身
緊急時の放射能影響予測や安定ヨウ素剤の配布もなし

3月1日、初の「代表質問」に立ちました。前日の2月29日に再稼働したばかりの高浜原発4号機で原子炉が緊急停止。この重大事態のもとでも、市長は「世界最高水準とされる新規制基準を厳格に適用し、万全の安全性を確保」と従来の答弁をくり返すだけでした。

市民を原発災害からどう守るかという点でも、避難計画の対象範囲は大飯原発から32.5km圏内に限られ、緊急時の放射能影響予測も想定せず、甲状腺被ばくへの対応に有効とされる安定ヨウ素剤の事前配布もなし。市民の命を守る立場とは言えません。「原発ゼロ」への政治決断が今こそ必要です!



高浜原発での事態受け、関西電力へ緊急申し入れ

高浜原発での相次ぐトラブルを受け、日本共産党は関西電力京都支店へ緊急申し入れを行いました。京都市会議員団から、井坂博文市議と私が参加。「ボルトのゆるみという初歩的ミスで放射能汚染水漏れ。危機意識そのものがゆるんでいる」と厳しく指摘し、原因の徹底究明と情報公開、再稼働中止を強く求めました。

伏見区の地域要求実現に取り組んでいます!

師団街道を走る市バスが1時間に4本へ増便されました。

伏見稲荷への観光客増加でバス停に人があふれる状態となっていた市バス南5系統。「臨時増便でなく定期便の増便を。観光対策だけでなく地域住民の利便性向上を」と求めてきました。

3月のダイヤ改正で、JR京都駅～伏見稲荷を直通で結ぶ「急行105系統」(伏見稲荷～竹田駅間は各駅停車)が新設され増便が実現。「15分間隔でバスが来るのはありがたい。これならぜひ利用したい」と地域のみなさんから喜びの声が寄せられています。



引き続き、●市バスの増便 ●交通不便地域への循環バスの実現 ●敬老乗車証・福祉乗車証を近鉄向島駅から使えるように ●竹田駅での乗継改善(均一区間の拡大) ●バス停への屋根・ベンチの設置など、伏見区の公共交通改善へ取り組みます!

水道局伏見営業所跡地は、地域のために活用を!

藤ノ森小学校の南に隣接する水道局の営業所跡地。「雨でも子どもたちが遊べる居場所を」「地域の防災、高齢者支援の拠点に」「商店街活性化のために」など、地域のみなさんから切実な要望が寄せられています!

市民の財産は市民のために活用を!引き続き京都市に強く求めていきます!



深草・鎮守池周辺の ゴミ不法投棄対策 一歩前進



市議会で深草・鎮守池周辺の不法投棄問題をくり返し取り上げてきました。「今年度中に池のごみを引き上げ、不法投棄防止のフェンスを張る」との答弁通り、新しくフェンスが張られました。

深草トレイル、大岩街道周辺地域の「いっせいで清掃ウォーク」も定期的に行われています。これからは地域のみなさんと力を合わせ頑張ります。

